

一条通病院	旭川市東光1条1丁目	34 2111
旭川医院	旭川市神楽3条4丁目	61 1117
宗谷医院	稚内市末広3丁目(稚)24	1117
ながやま医院	旭川市永山5条11丁目	46 2211
一条クリニック	旭川市東光1条1丁目	34 1136
かたくりの郷(老健)	旭川市神楽3条4丁目	63 1165
東光ぬくもりポート	旭川市東光1条1丁目	34 2917
宗谷さわやかポート	稚内市末広3丁目(稚)24	2223
北デイサービス	旭川市大町2条14丁目	59 1165

道北の医療

発行所
社会医療法人
道北勤労者医療協会
〒078-8341 旭川市東光1条1丁目
TEL 0166-33-1117
FAX 0166-32-6925
発行者 橋本浩徳



全日本民医連は参議院選挙までに署名100万筆をめざしています。

いま 憲法が危ない！

——平和憲法を未来へ——



もし、日本が他国から侵略されたとき憲法9条では日本を守れないという人たちがいます。だから軍事侵攻される前に敵基地を攻撃するという発想に行き着くのだと思います。歴史の教訓に学ぶべきです。現にロシアに軍事侵攻されているウクライナはロシア領内に反撃しているのでしょうか。答えは「ノー」です。ウクライナは侵攻によって奪われた自国の領土を取り戻そうとしているだけです。「軍事対軍事」では問題は一つ解決しません。

いま日本がやるべきことは憲法9条の理念を生かして戦争に至らない外交交渉や国際社会への働きかけを強めることです。

「核兵器廃絶」運動も日本が世界でリーダーシップを発揮すべき課題です。

かつてない憲法の危機という認識のもと、6月号ではみなさんから届いた「私の一言」を特集します。

平和憲法について一緒に考えてみましょう。

いまこそ憲法を守り、戦争をしない、させない社会を共にめざしましょう。

院選挙後の「改憲発議」を狙っています。

自衛権の発動に制約が生じるため、(自衛隊の位置づけ)改憲勢力は参議院選挙後の「改憲発議」を狙っています。

もし、アメリカが軍事行動を始めたら安保法制「集団的自衛権を発動して、自衛隊がアメリカ軍と一緒に「敵基地攻撃」で攻め込むことができるようになります。その結果、戦火が日本に及ぶ危険性が高まります。しかし、現憲法下では集団的自衛権の発動に制約が生じるため、(自衛隊の位置づけ)改憲勢力は参議院選挙後の「改憲発議」を狙っています。

改憲させてはいけない理由

改憲させてはいけない理由は、7月の参議院選挙を分岐点として正念場を迎えることとなります。日本を戦争ができる国にしないためにもみなさんのご協力をお願いいたします。

憲法改悪を許さない闘いは7月の参議院選挙を分岐点として正念場を迎えることとなります。日本を戦争ができる国にしないためにもみなさんのご協力をお願いいたします。

さらに返信していただいたハガキの「私の一言」には多くの方が戦争の恐ろしさ、残酷さ、核兵器廃絶の思いなどを綴られています。

改憲反対署名続々と！

読者のみなさんにお願

いした「憲法改悪を許さ

ない全国署名」の用紙と

ハガキが続々、戻ってき

たくさんの「私の一言」の一部を紹介します

ウクライナ危機に乗じた「核共有」など絶対ゆるされません。核兵器の廃絶こそ人類が生き残る唯一の道です。

21世紀に人類が進むべき道標となるのが9条の精神です。ウクライナ侵略を見て益々、その感を強くしていきます。

国を守るのに「戦争しかない」という考えは間違いです！ウクライナの状態を見れば良く解るはずで、戦いではなく、外交努力で！それが政治家の役割だと思います。

戦争の恐ろしさを経験した世代は少なくありません。平和な日本しか知らない子どもたちに憲法9条の大切さを伝えたいです。

憲法9条に自衛隊を書き込むことなど考えられません。改憲四項目に反対です。

戦争の「苦」を体験してきた私たちに、それにつながる憲法改悪は断じて許されるものでない。何が核共有、

ウクライナ危機に乗じた「核共有」など絶対ゆるされません。核兵器の廃絶こそ人類が生き残る唯一の道です。

21世紀に人類が進むべき道標となるのが9条の精神です。ウクライナ侵略を見て益々、その感を強くしていきます。

国を守るのに「戦争しかない」という考えは間違いです！ウクライナの状態を見れば良く解るはずで、戦いではなく、外交努力で！それが政治家の役割だと思います。

戦争の恐ろしさを経験した世代は少なくありません。平和な日本しか知らない子どもたちに憲法9条の大切さを伝えたいです。

憲法9条に自衛隊を書き込むことなど考えられません。改憲四項目に反対です。

戦争の「苦」を体験してきた私たちに、それにつながる憲法改悪は断じて許されるものでない。何が核共有、

ウクライナ危機に乗じた「核共有」など絶対ゆるされません。核兵器の廃絶こそ人類が生き残る唯一の道です。

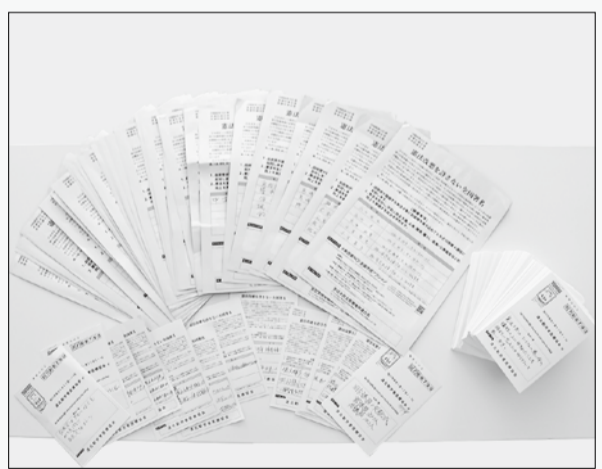
21世紀に人類が進むべき道標となるのが9条の精神です。ウクライナ侵略を見て益々、その感を強くしていきます。

国を守るのに「戦争しかない」という考えは間違いです！ウクライナの状態を見れば良く解るはずで、戦いではなく、外交努力で！それが政治家の役割だと思います。

戦争の恐ろしさを経験した世代は少なくありません。平和な日本しか知らない子どもたちに憲法9条の大切さを伝えたいです。

憲法9条に自衛隊を書き込むことなど考えられません。改憲四項目に反対です。

戦争の「苦」を体験してきた私たちに、それにつながる憲法改悪は断じて許されるものでない。何が核共有、



積み上がったハガキと署名用紙

いじめが原因の子どもの自殺。悩みを抱えた子どもたちを社会全体で受け止める方法は無いのか。ある報道番組で「インクルーシブ教育」が特集された。この教育方法は障害がある子もいない子も共に学ぶ教育のこと。全国的に支援学級数は10年前に比べて倍増している、その背景には専門的な指導のニーズの高まりがある。番組では旭川市で中学校に通う男子生徒(丁君)や大阪豊中市の小学校で人口呼吸器を装着し普通学級に通う生徒を追う。そこにはクラスに溶け込む2人の姿がある。心打つのは教師たちの情熱。地域の子は地域の学校で受け入れる。「やってみよう」という言葉は子どもたちを動かすし、本人と家族を励ます。両親は、安心して地域で生きていける」と話す。同級生が語る、その人がいるのが当たり前になる社会になってほしい。最後に丁君のお父さんはこの教育方法は多様性を認め合える社会に近づける一番有効な手段と語る。学ぶべきは固定概念を排除し、可能性にチャレンジすること。そこから互いをリスペクトしあえる関係が生まれる。多様性の意義を理解した子どもは差別の愚かさを学ぶ。(廣)

